

(仮称) 厚生産業会館 実施設計の概要

気軽に集い語らう施設の整備に向けて

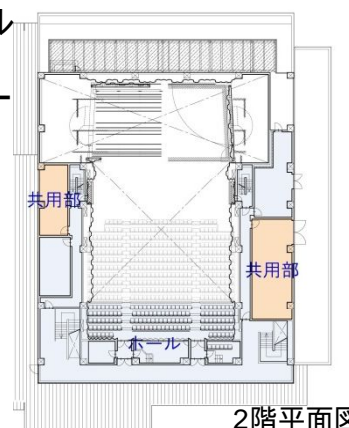


緑と水が豊かな高田公園の潤いのある環境を最大限に取り組み施設づくり

「つながり」と「独立性」を両立させる平面構成
 豊かな自然環境との連続性を配慮
 誰もが気軽に立ち寄れる、わかりやすい構成
建築概要

所在地 新潟県上越市本城町53-1-19
 敷地面積 18,399.57㎡
 駐車台数 202台
 主要用途 公民館, こども施設, 多目的ホール
 延床面積 4,507.04㎡
 建築面積 4,997.80㎡
 構造 鉄骨造+鉄筋コンクリート造
 階数 地上3階
 最高高さ 18.70m

- ・公民館 陶芸室、創作室、料理実習室、和室、研修室、会議室、多目的室、事務室
- ・こども プレイルーム、プレイエリア、一時預かり室、グループ活動室、相談室、授乳室、沐浴・洗濯室、専用トイレ、倉庫など
- ・ホール 多目的ホール、練習室、楽屋、倉庫、スタジオ・リハーサル室など
- ・その他 エントランスホール、中高生スペース、図書・情報コーナー、事務室、倉庫、トイレなど
- ・外構ほか 中庭、屋外広場、駐車場、駐輪場、雁木など



外観の特徴

高田公園の景観にふさわしい落ち着いた色調を基本とし、大屋根と庇の出による水平方向に伸びやかで、シンボリックなデザインとする。公民館、こども施設、及びホールのスタジオ・リハーサル室などを平屋建てにし、誰もが気軽に立ち寄りやすい威圧感のない建物とした。

公民館

夏場の日射や冬場の屋根落雪などにも考慮し、庇の深い奥行きのある外観とした。また、南堀に対して開放的な空間を提供する。

こども施設

自然採光や外部との連続性を考慮し、比較的大きな開口を用いた開放的な外観とした。開口部は夏場の西日対策として有効な、Low-eガラスを採用する。

多目的ホール

施設の中で最も高層となるため、周辺の既存樹木を残し、自然との調和を図るとともに、内部の諸室をコンパクトにまとめることで最小限のボリュームとした。

内観の特徴

- ・ 共用部は、外部から連続する雁木どおりと位置付け、高田の町屋や雁木をイメージした黒系の木壁や床材で仕上げる。
- ・ こども施設は、鉄骨造とすることで柱の少ない大空間を実現し、天井やサッシに木材を用いることで、温かみのある内装とする。
- ・ 公民館の各諸室はそれぞれの用途に対応した、管理しやすい、機能的な仕上げとする。
- ・ ホールや練習室等の内装は、遮音・吸音・反射等機能に応じた材料を選定し、優れた音響空間を提供する。

